



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 大成株式会社

上場取引所 名

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 中島 武久

TEL 052-251-6611

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,692	5.6	236	251.2	294	96.0	176	257.7
25年3月期第3四半期	12,964	2.0	67	△74.6	150	△49.7	49	△43.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 326百万円 (191.3%) 25年3月期第3四半期 112百万円 (288.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	35.07	—	
25年3月期第3四半期	9.81	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,538		7,728		7,728	73.3
25年3月期	10,223		7,503		7,503	73.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,728百万円 25年3月期 7,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	2.2	250	54.3	320	19.1	160	21.6	31.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,369,671 株	25年3月期	5,369,671 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	334,033 株	25年3月期	334,001 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,035,654 株	25年3月期3Q	5,035,691 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業部門における設備投資の増加基調や耐久消費財の駆け込み需要といった底堅い内需により回復基調に転じており、今後もこの傾向が続くと考えられます。

ビルメンテナンス業界におきましては、景気回復を背景として、東京のみならず大阪、名古屋といった大都市圏において新規ビルを中心に空室率の改善が見られるも、賃料水準については、東京地区の新規ビルが上昇傾向にある以外は、全国的に既存ビルも含めて上昇の気配がまだ見られず、収益面では引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、ビルメンテナンス事業につきましては、前連結会計年度に獲得したいくつかの新規大型物件及びホテルの高稼働が寄与し、売上は増収となりました。

また前連結会計年度より課題であった解約物件における余剰人員整理の対応及び作業効率の改善にともなう原価削減がすすみ、利益についても増益となりました。

リニューアル工事業業につきましては、ビルメンテナンス事業における顧客を中心として、広く営業活動を行った結果、特に名古屋地区の受注が堅調に推移し、増収増益となりました。

また不動産ソリューション事業につきましては、指定管理事業物件の契約満了及び既存物件における各種イベントの企画が売上につながらず、減収減益となりました。

結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高136億92百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業利益2億36百万円（同251.2%増）、経常利益2億94百万円（同96.0%増）、特別利益として投資有価証券売却益を13百万円、特別損失として固定資産除売却損6百万円を計上したため、四半期純利益は1億76百万円（同257.7%増）となりました。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、名古屋東京海上日動ビルディングなどの新規物件、帝京大学医学部附属病院、ORE錦二丁目ビル、名古屋観光ホテルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、ホテルの高稼働が続いていることなどにより、売上高は71億62百万円（同6.9%増）となりました。また解約による余剰人員の整理及び原価改善により、営業利益は9億14百万円（同13.9%増）となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、NTT駿河台ビル、藤田保健衛生大学病院などの新規物件、あいおいニッセイ同和損保新宿ビル、ORE錦二丁目ビルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、中野坂上サンブライツツインの業務範囲拡大などにより、売上高は28億53百万円（同1.9%増）となりました。また随時工事獲得などが利益に寄与し、営業利益は1億8百万円（同64.0%増）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、中之島フェスティバルタワー、日本生命丸の内ビルなどにおける受付業務の新規受注、ORE錦二丁目ビルなどの前連結会計年度に獲得した物件のほか、中野坂上サンブライツツインの業務範囲拡大などにより、売上高は20億64百万円（同1.0%増）となりました。また人員の定着などが原価削減に寄与し、営業利益は1億59百万円（同4.5%増）となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は120億81百万円（同4.7%増）となり、営業利益は11億81百万円（同15.8%増）となりました。

リニューアル工事業業

リニューアル工事業業につきましては、好況によりビルオーナーの改修意識が上向きとなり、顧客ビルを中心とした新規工事の受注が増加し、売上高は12億2百万円（同31.2%増）となり、営業利益は58百万円（同7.2%増）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、指定管理事業物件のあま市文化会館及び関連施設が契約満了となったこと、またすいとびあ江南における集客イベントが売上の増加につながらなかったことにより、売上高は4億8百万円（同18.8%減）となり、営業利益は23百万円（同25.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産105億38百万円（前連結会計年度末比3億15百万円増）、負債の部は28億9百万円（同89百万円増）となり、純資産の部は、77億28百万円（同2億25百万円増）となりました。

資産の部の増加要因は、「受取手形及び売掛金」、「投資有価証券」及び「土地」が増加したことによるものであります。

負債の部の増加要因は、「短期借入金」及び「未払費用」等が増加したことによるものであります。

純資産の部の増加要因は、「利益剰余金」及び「その他有価証券評価差額金」が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成26年3月期通期の業績予想に対する進捗率が、売上高は76.9%、営業利益は94.5%、経常利益は92.1%、四半期純利益は110.4%となっており、いずれも堅調に推移しています。

しかしながら、当第3四半期の増収増益の要因であったリニューアル工事の受注増及びホテルの高稼働の継続は不透明であり、さらに人材採用難による募集費、教育費などの支出増が予想されるため、平成26年3月期通期の業績予想は、平成25年5月14日公表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688,426	1,677,054
受取手形及び売掛金	1,778,623	1,888,412
有価証券	202,114	—
商品及び製品	4,245	4,043
原材料及び貯蔵品	54,435	55,831
繰延税金資産	112,265	32,269
その他	53,799	60,576
貸倒引当金	△542	△580
流動資産合計	3,893,368	3,717,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,091,378	2,095,412
減価償却累計額	△1,281,713	△1,295,994
建物及び構築物（純額）	809,664	799,418
機械装置及び運搬具	449,677	443,397
減価償却累計額	△380,682	△387,670
機械装置及び運搬具（純額）	68,995	55,726
工具、器具及び備品	335,942	337,743
減価償却累計額	△255,039	△264,929
工具、器具及び備品（純額）	80,903	72,814
土地	1,172,592	1,206,132
リース資産	—	10,620
減価償却累計額	—	△2,124
リース資産（純額）	—	8,496
有形固定資産合計	2,132,156	2,142,587
無形固定資産		
投資その他の資産	34,180	23,699
投資有価証券	2,054,077	2,574,507
差入保証金	264,458	257,990
退職積立資産	1,001,831	1,034,642
保険積立資産	316,330	313,558
ゴルフ会員権	143,494	153,908
繰延税金資産	160,471	89,246
長期預金	150,000	150,000
その他	99,862	107,667
貸倒引当金	△26,985	△26,985
投資その他の資産合計	4,163,540	4,654,537
固定資産合計	6,329,877	6,820,824
資産合計	10,223,245	10,538,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,333	515,782
短期借入金	60,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	39,990	30,000
リース債務	—	2,124
未払費用	201,903	236,091
未払給与	778,502	772,881
未払法人税等	47,714	16,013
未払消費税等	96,429	109,009
賞与引当金	219,832	53,173
その他	174,837	280,318
流動負債合計	2,133,543	2,255,394
固定負債		
長期借入金	50,000	27,500
リース債務	—	6,903
預り保証金	29,763	24,767
退職給付引当金	295,469	270,193
役員退職慰労引当金	211,376	224,921
固定負債合計	586,609	554,285
負債合計	2,720,153	2,809,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	5,983,758	6,059,658
自己株式	△314,505	△314,524
株主資本合計	7,369,691	7,445,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,400	283,179
その他の包括利益累計額合計	133,400	283,179
純資産合計	7,503,091	7,728,751
負債純資産合計	10,223,245	10,538,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,964,366	13,692,741
売上原価	11,407,223	11,957,519
売上総利益	1,557,142	1,735,222
販売費及び一般管理費		
役員報酬	120,555	122,025
給料	566,952	578,381
賞与引当金繰入額	85,099	88,014
役員退職慰労引当金繰入額	13,840	14,557
賃借料	144,878	133,238
減価償却費	60,185	59,379
その他	498,379	503,413
販売費及び一般管理費合計	1,489,891	1,499,010
営業利益	67,251	236,212
営業外収益		
受取利息	9,333	16,910
受取配当金	23,729	30,247
受取手数料	26,762	11,087
受取保険金及び配当金	2,271	2,349
保険返戻金	14,131	46
有価証券運用益	9,870	—
持分法による投資利益	5,467	5,585
その他	2,011	1,912
営業外収益合計	93,577	68,139
営業外費用		
支払利息	2,987	1,703
支払手数料	6,965	6,978
雑損失	600	1,100
営業外費用合計	10,553	9,781
経常利益	150,275	294,569
特別利益		
固定資産売却益	13	—
投資有価証券売却益	—	13,881
投資有価証券評価益	—	3,867
特別利益合計	13	17,749
特別損失		
固定資産除売却損	19,467	6,358
投資有価証券償還損	17,844	381
ゴルフ会員権評価損	500	—
特別損失合計	37,811	6,739
税金等調整前四半期純利益	112,477	305,578
法人税、住民税及び事業税	10,459	59,489
法人税等調整額	52,640	69,476
法人税等合計	63,100	128,965
少数株主損益調整前四半期純利益	49,377	176,612
四半期純利益	49,377	176,612

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,377	176,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,670	149,779
その他の包括利益合計	62,670	149,779
四半期包括利益	112,047	326,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,047	326,392

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソ リューション 業務		
売上高							
外部顧客への売上高	6,698,666	2,801,788	2,043,907	916,894	503,109	—	12,964,366
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,698,666	2,801,788	2,043,907	916,894	503,109	—	12,964,366
セグメント利益	802,454	66,020	152,418	54,566	31,524	△1,039,732	67,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,039,732千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソ リューション 業務		
売上高							
外部顧客への売上高	7,162,868	2,853,710	2,064,867	1,202,930	408,364	—	13,692,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,162,868	2,853,710	2,064,867	1,202,930	408,364	—	13,692,741
セグメント利益	914,197	108,252	159,302	58,468	23,498	△1,027,507	236,212

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,027,507千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。